



孤児の遺品である「親子の証」が収められたアーカイブの引き出し。指輪、母親の服を裂いた布端、ロザリオ。唯一の絆は様々な形。

ルネサンスの空間に
幸せを祈る名作を連れて

手前はベネデット・ブリーオーニ作の彩色陶板《聖母マリアの戴冠》。幼児の柔らかな肌からは、ミルクの甘い香りが匂い立つよう。左奥にはギルランダイオ作《マギの礼拝》を飾る。

Museo degli Innocenti

名建築と調和するモダンな博物館として登場

聖母子像が伝える
フィレンツェ人の精神

1419年、フィレンツェの絹織物組合は街に増える孤児を救うため、国内初の養育院を創設した。設計はブルネレスキ、館内を彩る芸術品も一流。この慈善施設が捨て子養育院博物館の基礎となる。

篤志を受け継ぐ養育院は現在に至るまで運営が続けられ、博物館は昨年、リニューアルオープンを果たした。ルネサンスの傑作と讃えられる建築の趣は失われてはいないが、館内はモダンなデザインに。落ち着いた雰囲気はなにか、ギルランダイオ作《マギの礼拝》やポッティエリ作《聖母子と天使》、ロツビアの彩色陶板など、養育院由来の名作が並ぶ。

展示は聖母子像をはじめとして、子どもの幸せを願うものが多く、微笑ましくも哀しみを誘う。今年2月、地下にオープンしたアーカイブの引き出しには、親が捨て子に託した「親子の証」が収められている。フィレンツェ人の精神に触れ、今に通じる歴史

捨て子養育院博物館

Piazza della Santissima Annunziata 13, Firenze
☎055-2037308 www.istitutodegliinnocenti.it
🕒10時～19時
📅1月1日、復活祭の日曜、12月25日 ※ほか不定休あり
💰€7

Art Break

絵画と建築を味わった後は
屋上のカフェでお菓子を

捨て子養育院博物館の屋上にはミュージアム・カフェが設けられている。ここでのおすすめはイタリアの子どもたちが大好きな焼き菓子。ほど良い歯ごたえと素朴な甘さが後を引くお菓子を楽しみ、眺めのいいテラスでゆっくりくつろぎたい。



1 ビスケットやメレンゲは昔ながらの味わい。ハーブティー€4
焼き菓子の盛り合わせ€4 2 カフェは心地よいオープンエア。

